

議会報告会でのご意見等について

議会報告会でいただいたご意見・ご要望等について、報告会后に協議・検討した内容についてお知らせします。掲載は一部のみですが、大竹市ホームページ（市議会のページ）に全部掲載しています。

なお、ご意見等については、所掌の委員会から執行部に照会をし、回答をいただいた後に再度、所掌の委員会で協議、検討しています。

（執は執行部からの回答、総は総務文教委員政策研究会での協議・検討内容、生は生活環境委員政策研究会での協議・検討内容です。）

●小方小中学校が高台に移転し立戸の体力の少ない小学生低学年等は通学に距離があり困っている。通学にスクールバスの運営やこいこいバスの利用を検討してほしい。

⑧執➡ 通学距離が4km未満の児童は徒歩での通学をお願いしているところです。現状のままでお願いしたい。

⑧総➡ 「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」によると「通学距離について、小学校はおおむね4km以内が適正である」とされており、規定内の通学距離となっています。個別の案件については教育委員会に相談をお願いしたいと思います。

●小方橋北詰交差点の朝晩の渋滞について変更はできるのか。

⑧執➡ 現在大竹警察署で改善策を検討中です。

⑧総➡ 大竹警察署交通課に確認したところ、平成27年4月30日から、小方橋北詰交差点の玖波青木線側車道の青信号の時間を少し長く変更したとの回答を得られました。引き続き状況を見守りたいと思います。

●健康増進また晴海運動公園などの利用をしようと思えば、阿多田からは往復1,400円余分にかかる。助成などはできないか。

⑧執➡ 阿多田に居住する要介護（要支援）高齢者が介護保険の訪問系サービスを利用する場合に、訪問する事業所に対してフェリー代を助成する制度があります。

その他の助成を行うかどうかについては、現在研究中です。

⑧生➡ 公共交通について、生活環境委員政策研究会で協議します。

●松ヶ原の地域交通について利便性が悪い。一日がかりの買い物になる。

⑧執➡ 大竹・栗谷線バスは平日4往復、土日祝日は3往復運行しています。

平成26年度の運行経費は約13,300千円、運賃収入は約2,000千円、収支率15.39%で、市の負担額は約10,500千円（約800千円は運行業者が負担）となっており、増便することは困難な状況です。上り第2便と下り第2便の運行間隔が約3時間ありますが、栗谷地区の方は通院や買い物にこの便を利用されています。増便は困難ですが、ダイヤの改正は可能と考えています。

⑧生➡ 公共交通について、生活環境委員会政策研究会で協議します。

